

学校の教育目標「自他を大切にし、みんなで高め合う金剛っ子 ～元気・笑顔・成長～」

八代市立金剛小学校だより 校訓「やさしく うつくしく かしこく たくましく」



ダイヤモンド輝く金剛小



第6号 令和8年6月24日発行 発行者 校長 田口広治

6月は心のきずなを深める月間！



↑学校HP

■6月18日（木）に児童集会を行いました。

まず、生活委員会から、「スリッパならべ」について劇で発表しました。

現在「ごりっばスリッパ」の取組中です。次の人が使いやすいように、スリッパをしっかりと並べることができるようになってほしいと思います。

続いて、生活指導担当の長船先生から、「自転車と歩行者は別々に安全に通行すること」「地域では田んぼや用水路で勝手に物に触らないこと」との話がありました。

■私からは、「心のきずなをふかめる月間」ということで、「いじめ、みちゃった！」という絵本を基に話をしました。

あれって、いじめかな？ あの子、悪口、言われている。たたかれたり、つつかれたり。遊びにもいれてもらってない。

「ぼくはだいじょうぶ」ってあの子は言ってる。本当かな？ あの子、最近ひとりぼっち。でも、みんな、何もしない。ぼくも、何もできてない。あの子に声をかけたら、ぼくも悪口言われちゃうかな。それはこわいな。

ぼくは学校で見たことをお兄ちゃんに話してみた。「ふむ・・・それはいじめだね。ぼくも前にまきこまれたことがあるよ」お兄ちゃんが言った。

「だれかに何かをされて、つらい子がいたら、それはいじめだよ」お兄ちゃんは教えてくれた。「どんな理由があっても、いじめられていい人は一人もいないんだ」

どんな理由があってもだれであっても、いじめられていい人はいないんだ。ぼくも、あの子も、みんな！

「自分が楽しければみんなも楽しいと思うのは、シンキングエラー。まちがった考えだよ。だから、いやなことをするのはやめよう」

■最後に次の話をしました。

「いじめをするのは絶対いけません。いやなことがあったら、やめてと言ったり、誰かに相談したりしてください。でも、言えない場合もあります。だから、見ている人、周りの人が大事です。周りの人がいじめをやめさせてください」

学校の目標「自他を大切にする」が実現できるように、みんなで心のきずなを深めていきたいと思います。



各学年の学習や活動が進んでいます！

■6月10日(火)、トマト農家の植田さんのハウスで、3年生がトマト収穫体験を行いました。最初の説明で、「八代のトマトは、冬から春は全国の8割です」との話があり、日本一の産地だということに、子供たちは驚いていました。

収穫の仕方を教えてもらおうと、ハウスの中に入り、次々に収穫をしていました。青いトマトでも2、3日で赤くなるとの話がありましたが、子供たちはやはり赤いトマトを次々と収穫していました。持って行ったビニール袋がいっぱいになっていました。

最後に収穫したトマトを食べると、子供たちは「おいしい！」と笑顔になっていました。

■6月19日(金)、6年生対象の租税教室がありました。講師は八代地方法人会の方々です。

最初のビデオの中で、「税金がなくなると・・・大変なことになってしまう」との内容があり、子供たちは税の大切さを感じていました。

話の中では、所得税や法人税、消費税など具体的な税の内容や、税がどのように使われているかなどの内容があり、しっかりと話を聞く姿がありました。

最後には、レプリカの「1億円」を全員が持ち上げる体験をすることができ、とても貴重な一時間となりました。



■6月23日(火)には、5年生が米農家の塚田さんの田んぼで、代かきを行いました。5年生は5月終わりに米の種まきをやっており、いよいよ田植え前です。

作業を始める前に、「どろんこリレー」をやりました。田んぼに素足で入り、泥の冷たさを感じたり、全身で直接触れたりしました。その後、レーキを使って代かきをしました。土をならして平らにする作業です。田んぼの土を平らにすることで水の管理がしやすくなり、泥を細かくすることで水もれがなくなったり、田植え前の大切な作業です。

子供たちは、楽しみながら体験をすることができていました。

■このほか、1、2年生は生活科で探検に出かけたり、4年生は学校内のユニバーサルデザインを探したりするなど、それぞれの学年で取組が進んでいます。

各学年で、体験や調査をしたり、外部の方に学んだりする中で、学びを深めることができています。

